

フランクフルト日本人国際学校・音楽科通信

♪ ぽこ あ ぽこ ♪

♪ 2022年度 **poco a poco** ♪

Nr. 6 2022年6月8日(水)

文責:プファイル・辰巳

運動会 お疲れさまでした!

心配された天候にも恵まれ、フランクフルト運動会が無事終わりました。全力で走ったり演技したりし、声を嗄らして応援しているみなさんの一所懸命な姿に、心を打たれました。何をするにしても、一心不乱に取り組む姿は見ていて気持ちがいいですね。この行事を通して、一回りも二回りも成長した人も多いと思います。この達成感を大切にしながら、1学期の残りの日々も、充実させていってほしいと思います。



音楽こぼれ話 <その時、作曲家は… ⑥ セザール・フランク

「ヴァイオリンソナタ イ長調」>

セザール・フランクは、1822年にベルギーとドイツの国境近くのベルギー側に生まれた作曲家です。今年ちょうど生誕200周年ということになります。フランスの作曲家として知られていますが、お父さんはベルギー出身、お母さんはドイツ出身でした。

少年時代にパリに引っ越し、パリのコンセルバトワールで音楽を学びました。1846年からは、パリのあちらこちらの教会でオルガニストとして活躍し、1872年からはコンセルバトワールのオルガン教授の職も得ました。演奏家として活躍するかたわら、主にオルガン曲の作曲も手がけたということです。

さて、そのフランクが1886年の夏、63歳にして初めてヴァイオリンとピアノのためのソナタを作曲しました。このソナタは、ピアノがヴァイオリンの伴奏をするというわけではなく、ヴァイオリンが独奏主楽器というわけでもありません。ピアノとヴァイオリンの音楽的内容が対等であり、二重奏と呼ぶべき大曲に仕上がっています。全曲は4楽

章からなり、演奏時間は30分ほどになります。

<セザール・フランク>

フランクのある友人がこの曲の仕上がりに感嘆し、フランクと同郷の後輩ヴァイオリニストで、当時大人気を博していたイザイの結婚祝いとして、献呈することを勧めました。

初演は1886年の12月、イザイによってブリュッセルで行なわれたのですが、イザイ自身もこの曲の素晴らしさに圧倒され、この曲を全世界の演奏家や聴衆に広めるという使命を自分に課し、生涯この曲をあちらこちらの演奏会場で披露しました。

こうしてフランクの「ヴァイオリン・ソナタ イ長調」は名作として広まり、フランス系のヴァイオリン・ソナタの最高傑作とまでいわれるようになりました。

現在では、ヴァイオリン奏者だけではなく、チェロをはじめ様々な楽器奏者から、この名作を演奏したいというニーズが出され、種々の編曲版ができています。ピアノ独奏や4手連弾、フルートソナタ、チェロソナタとして、多くの演奏家に愛奏されています。私のお勧めは、マルタ・アルゲリッチのピアノ、ミシャ・マイルスキーのチェロによる演奏です。ぜひ第4楽章の輝かしいフィナーレだけでも試聴してみてください。

セザール・フランクは、この曲を作曲した後、1889年に交通事故に遭い、その怪我が悪化して1890年、パリで永眠しました。お墓はモンパルナス墓地にあるということです。



ちょっとだけ 演奏会情報

～ Rheingau Musik Festival 2022 ～

夏の音楽祭紹介、今回はワインの産地 Rheingau 地方の町々のコンサート会場や教会などで開催される音楽フェスティバルの紹介です。

期間 2022年6月25日 ～ 9月3日

場所 エーバーバッハ修道院、ヨハニスベルグ城、ヴィースバーデン・クアハウスなどの大会場のほか、各地のワイン農家や教会などが会場になります。

詳しくは・・・www.rheingau-musik-festival.de

TEL 06723 602170